

建設業界で働く誇りに触れてほしい——。さいたま市内で19日、土木・建設業の面白さを高校生に伝える「はたらく魅力実感講座」が開かれ、県立滑川総合高校ラグビー部の生徒32人らが参加した。講座は埼玉県建

設業協会と県教育委員会が共同で開催。当日は公明党県議団（蒲生徳明団長）の尽力により、社会人ラグビーチーム「埼玉パナソニックワイルドナイツ」で活躍中の坂手淳史選手が応援に駆け付けた。

建設業、かつこいい！

働く魅力現場で実感

担い手育成へ 高校生向け講座

埼玉県



調節池の建設現場を見学する滑川総合高の生徒たち

今回の講座は、朝9時半から午後4時にかけて実施された。普段は工業高校の生徒向

アスリートも応援 公明の提案で実現

けに県建設業協会が類似の見学会を開催しているが、「より多くの子どもたちに建設の世界を知ってほしい」と内容を拡充し、初めて専門学科以外の生徒を対象に開かれた。滑川総合高校の生徒たちは午前中、「チームビルディング」を題材に強い組織の作り方をゲーム形式で学んだ。昼食後は県内企業の社員が登壇。「チームで働く建設業は、災害から人々の命を守り、未来まで形が残るかつこいい仕事です」と熱弁した。

その後は屋外に移動し、整備が進む荒川第二調節池の工事現場を間近に見学。熱中症対策に万全を期しながら、工事に携わる若手社員から仕事への熱意を聞いた。ドローンやICT（情報通信技術）を駆使した最新の施工技術を体験したりした。



高校生と現場を見学した党県議団（左側9人）ら

業界は今、深刻な人手不足に直面している。県建設業協会の北村学・業務部長は、「この世界の門をたたいてくれる生徒がいたら本当にうれしい。こうした機会を広げていけたら」と望んでいた。

ラグビー選手登場

今回の講座には、サブライズゲストとして日本代表の経験を持つ現役ラグビーマンの坂手選手も登場し、生徒たちは大興奮。坂手選手は皆と会話しながら工事現場を一緒に見学し、「ラグビーと建設業は、皆で一つの目標に向かって切磋琢磨し、成長していける共通点がある」と語っていた。

アスリート派遣が実現した陰には、建設業界の担い手確保に取り組む公明党県議団の尽力があった。

萩原一寿議員は今年3月、トップアスリートを学校に派遣し若い世代に建設業の魅力伝えていく株式会社WINNERSのプロジェクトに着目。萩原議員は6月の定例会で紹介し、建設業の人材確保へ「高校生に人気のあるアスリートの発信力を生かしてはどうか」と提案していた。